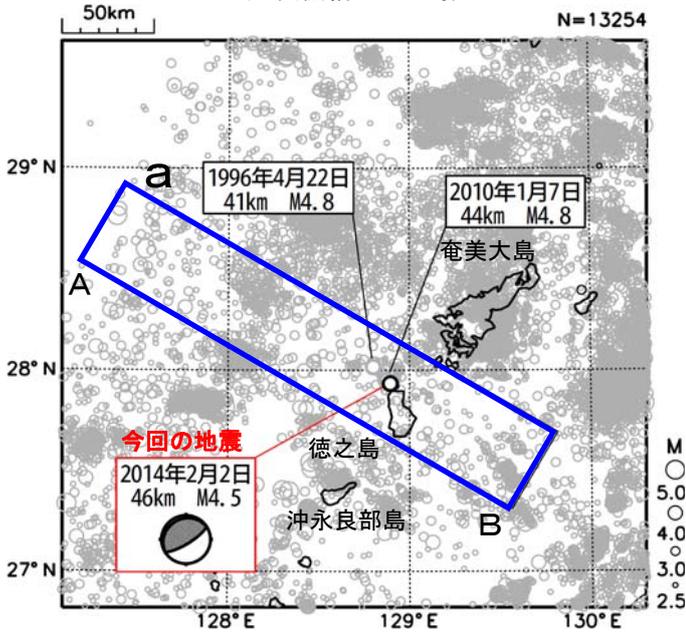


2月2日 奄美大島近海の地震

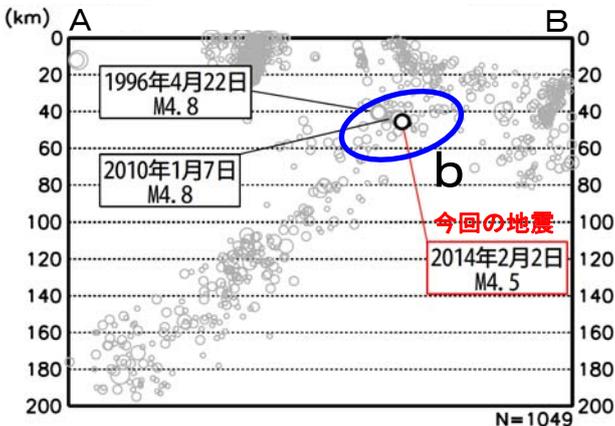
震央分布図

(1994年10月1日～2014年2月4日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)
2014年2月の地震を濃く表示
発震機構はCMT解

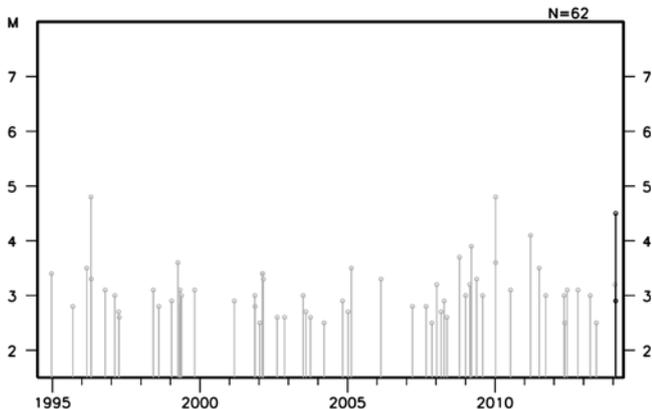


M4.5以上の地震に吹き出しを付けた

領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図



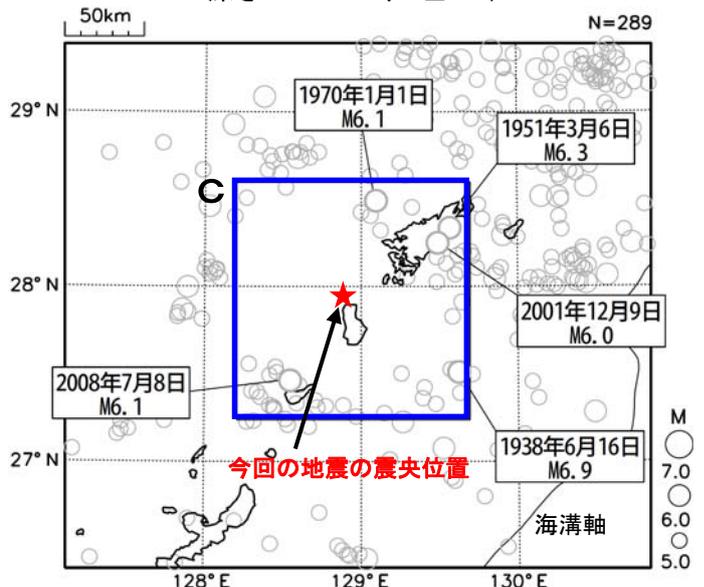
2014年2月2日15時05分に奄美大島近海の深さ46kmで $M 4.5$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1994年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、今回の地震を含め $M 4.5$ 以上の地震が3回発生している。

1923年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 6.0$ 以上の地震が5回発生している。そのうち1970年1月1日に発生した $M 6.1$ の地震では、負傷者5人、住家一部破損1,462棟などの被害が生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

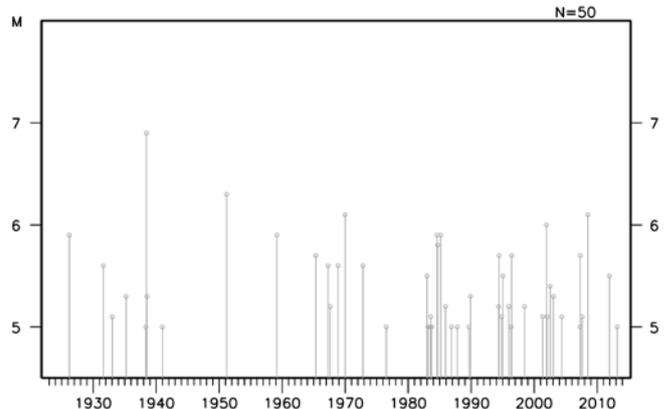
震央分布図

(1923年1月1日～2014年2月4日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



$M 6.0$ 以上の地震に吹き出しを付けた

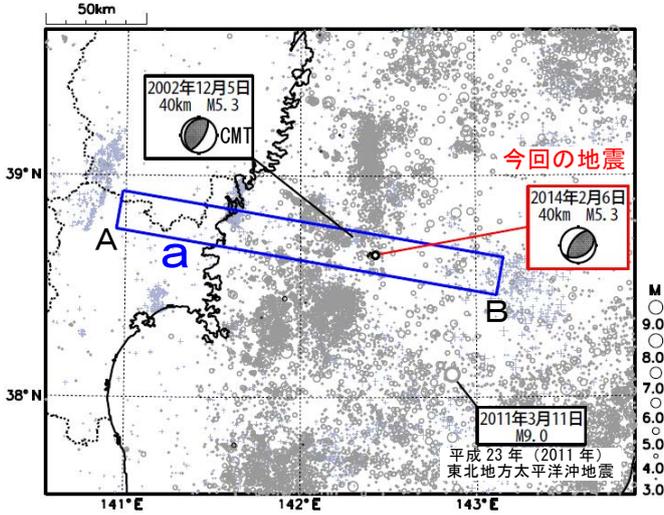
領域c内のM-T図



2月6日 宮城県沖の地震

震央分布図※
(1997年10月1日～2014年2月6日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、2014年2月の地震を濃い○で表示

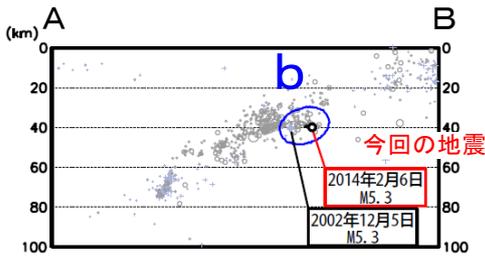


2014年2月6日02時32分に宮城県沖の深さ40kmでM5.3の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

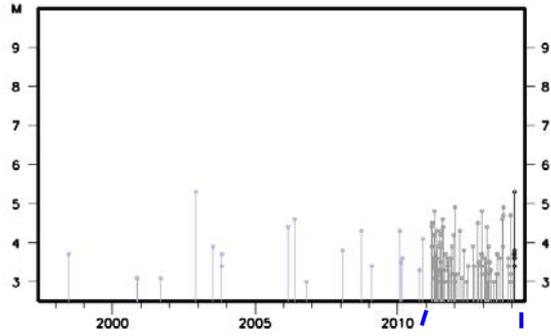
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2002年12月5日にM5.3の地震 (最大震度3) が発生している。また、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動が活発化し、M5.0前後の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、M6.0以上の地震が時々発生している。

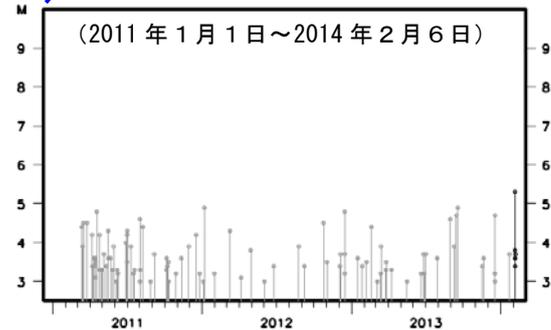
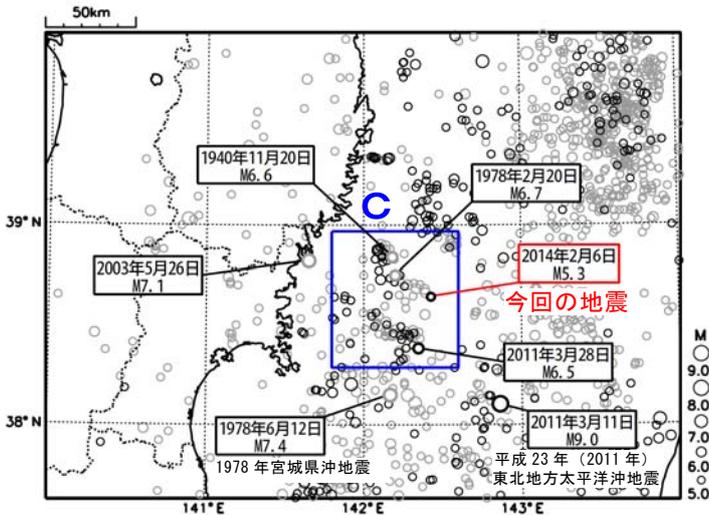
領域a内の断面図 (A-B投影) ※



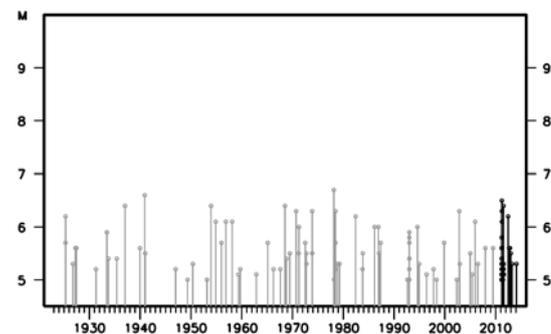
領域b内のM-T図※



震央分布図
(1923年1月1日～2014年2月6日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2011年3月11日以降の地震を濃く表示



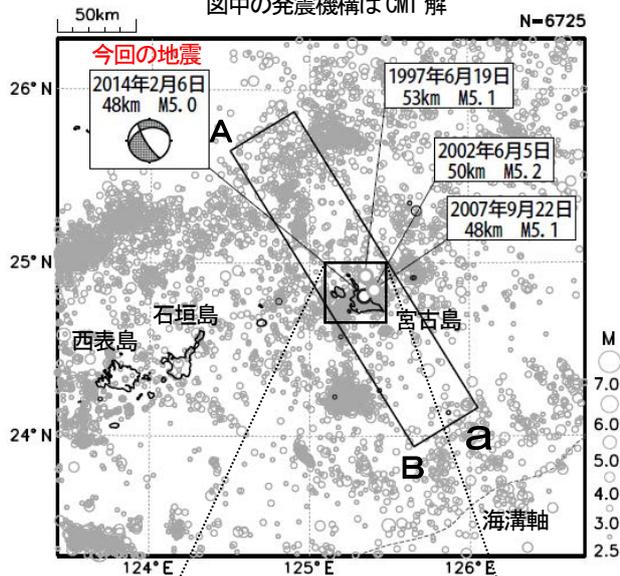
領域c内のM-T図



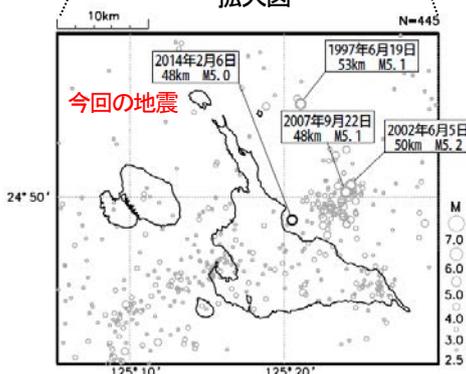
※2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

2月6日 宮古島近海の地震

震央分布図
(1997年1月1日~2014年2月6日、
深さ0~150km、 $M \geq 2.5$)
2014年2月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

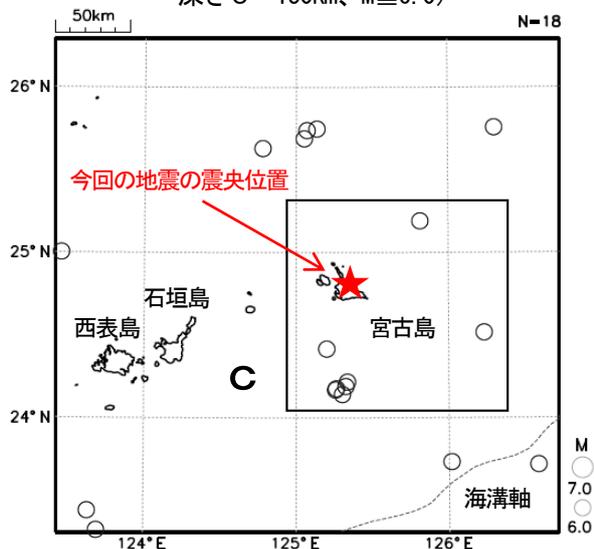


拡大図



震央分布図

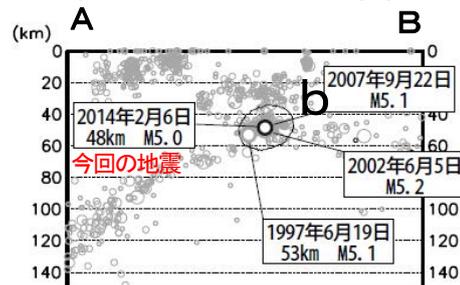
(1960年1月1日~2014年2月6日、
深さ0~150km、 $M \geq 6.0$)



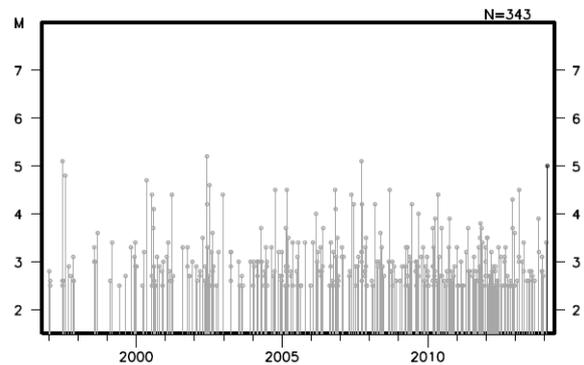
2014年2月6日20時32分に宮古島近海(宮古島付近)の深さ48kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は北北東-南南西方向に張力軸を持つ型である。

1997年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0を超える地震が、1997年6月19日(M5.1 最大震度4)、2002年6月5日(M5.2 最大震度3)、2007年9月22日(M5.1 最大震度3)に発生している。

領域a内の断面図(A-B投影)

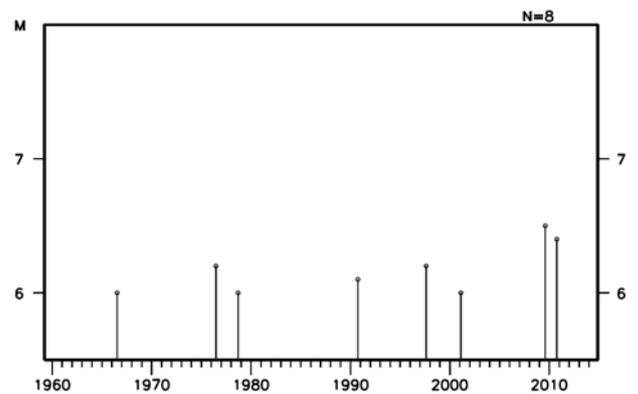


領域b内のM-T図



1960年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6クラスの地震が時々発生している。

領域c内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)

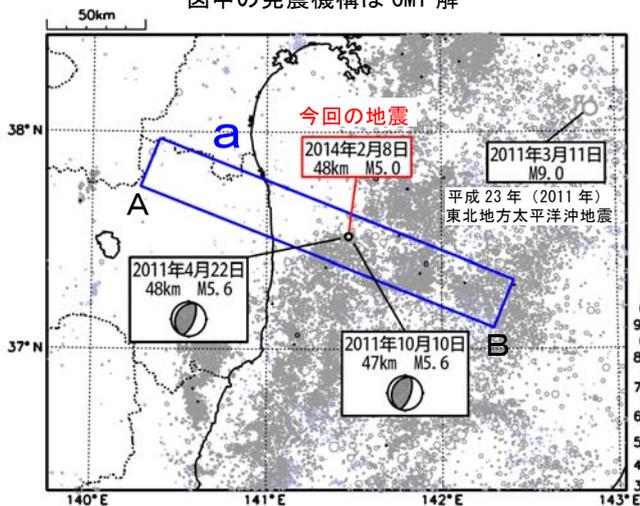
2月8日 (02時18分)

福島県沖の地震

震央分布図※
(1997年10月1日～2014年2月8日、
深さ0～100km、M≥3.0)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、2014年2月の地震を濃い○で表示

図中の発震機構はCMT解

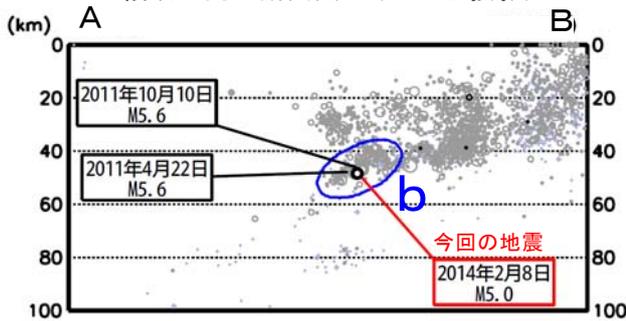


2014年2月8日02時18分に福島県沖の深さ48kmでM5.0の地震(最大震度4)が発生した。

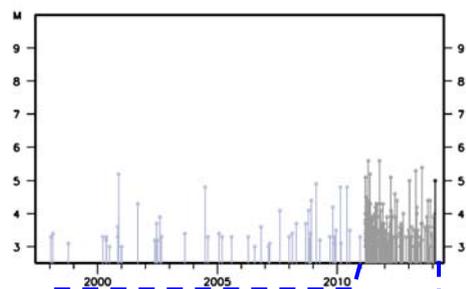
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が時々発生していたが、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、2011年4月22日と同年10月10日にM5.6(ともに最大震度4)の地震が発生するなど、地震活動が活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1938年11月5日にM7.5の地震が発生し、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた。また、この地震により、宮城県花淵で113cm(全振幅)の津波が観測された(「最新版 日本被害地震総覧」による)。この地震の発生前後、広い範囲でM7クラスの地震が数回発生するなど、地震活動が活発になった。

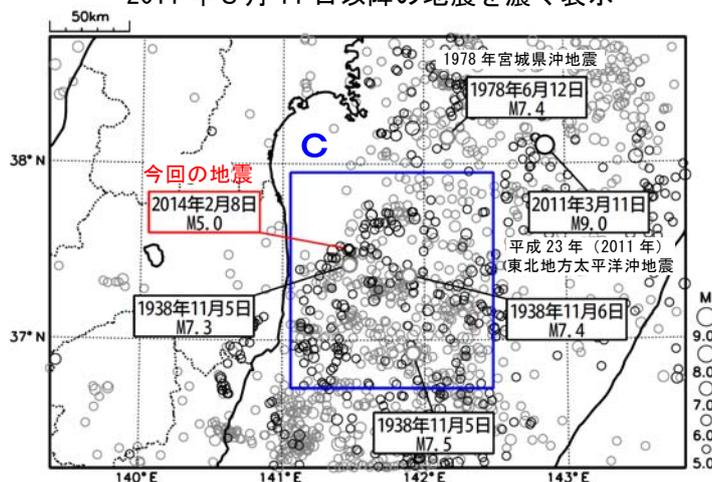
領域a内の断面図※ (A-B投影)



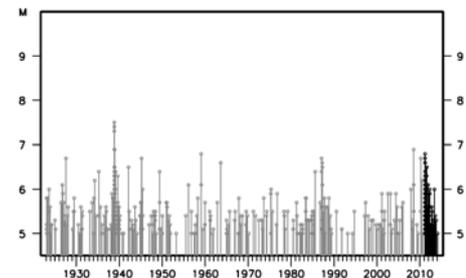
領域b内のM-T図※



震央分布図
(1923年1月1日～2014年2月8日、
深さ0～100km、M≥5.0)
2011年3月11日以降の地震を濃く表示



領域c内のM-T図

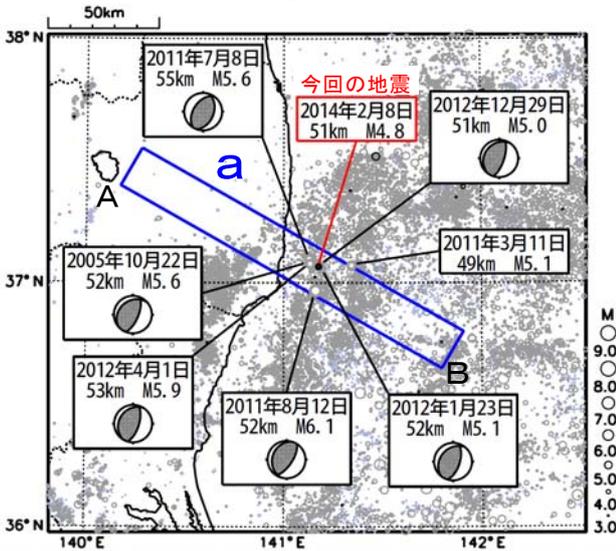


※2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

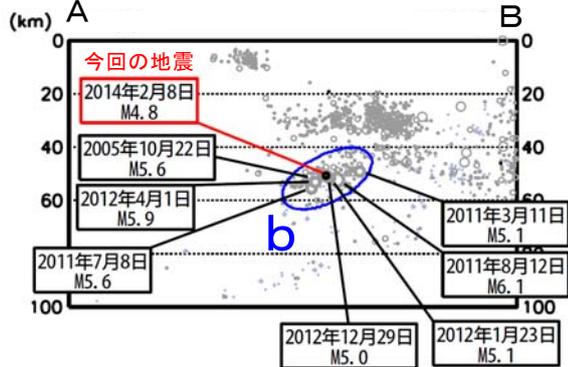
2月8日 (11時34分) 福島県沖の地震

震央分布図※
(1997年10月1日～2014年2月8日、
深さ0～100km、M≥3.0)

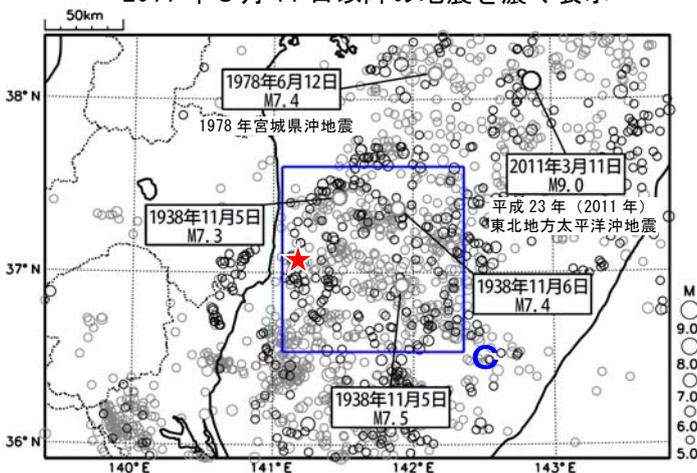
東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、2014年2月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図※ (A-B投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2014年2月8日、
深さ0～100km、M≥5.0)
2011年3月11日以降の地震を濃く表示



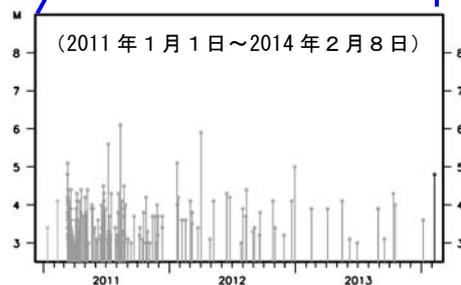
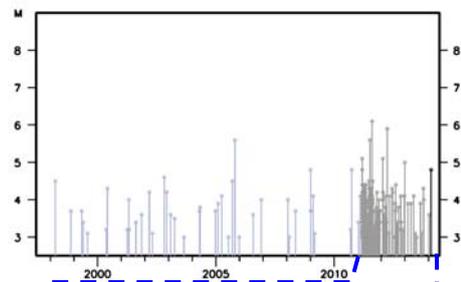
★は今回の震央位置

2014年2月8日11時34分に福島県沖の深さ51kmでM4.8の地震 (最大震度4) が発生した。

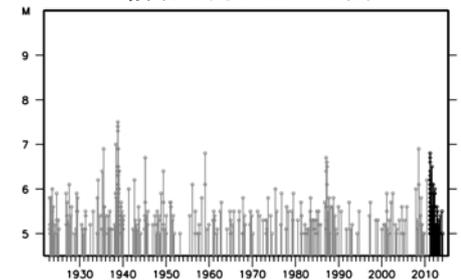
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が時々発生していたが、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、2011年8月12日にM6.1 (最大震度5弱) の地震が発生するなど、地震活動が活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日にM7.5の地震が発生し、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた。また、この地震により、宮城県花淵で113cm (全振幅) の津波が観測された (『最新版 日本被害地震総覧』による)。この地震の発生前後、広い範囲でM7クラスの地震が数回発生するなど、地震活動が活発になった。

領域b内のM-T図※



領域c内のM-T図



※2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。